



全国大会で銅賞を受賞した佐々木さん（栗栖工業で）と競技風景（提供）

技能五輪とび職部門

栗栖工業 佐々木さんが銅賞

中央3丁目の栗栖工業（栗栖龍男社長）の佐々木辰也さん（23）がこのほど、愛知県で開かれた第52回技能五輪全国大会のとび職種部門で銅賞を受賞した。2年連続出場で手にした快挙。大会後は村岡嗣政県知事からも表彰され「自分の仕事ぶりが認められて大きな励みになった。これからも全力で仕事に取り組み」と話した。

「大きな励み 今後も全力」

佐々木さんのとび職歴は3年10カ月。高所作業で危険を伴うが、山口高定時制を卒業後に「一人に役立つしおもしろそう」と未知の世界に体一つで飛び込んだ。「同じ現場は一つとしてない。毎日が刺激的」と仕事の魅力を語り、2013年に2級とび技能士を取得した。大会は原則23歳以下の

若手技能者の技能レベル向上などを目的に196

3年から毎年開催されている。今回の愛知県大会は昨年11月28日から12月1日にかけて豊橋市総合体育館など13会場で4職種が実施された。

とび職種部門では、パイプで三角屋根の建物の骨組みを制限時間の4時

間以内で製作する。

13年の千葉県大会では気負いすぎて実力が出せずに入賞を逃した。悔しさをバネに「今年こそは」と臨み、制限時間を30分残して組み上げた。

念願の好成績を栗栖社長は「本音によくやった」と褒めたたえる。安全で正確な作業ができるとび

職技能士として箔（はく）が付き、現場での仲間を取りまとめにも力が入る。

「出場を支えてくれた仲間や上司に感謝して、誰もが安全に作業をできる現場を守りたい」と話す。1年がかりの大仕事だった広島県廿日市市のプラント建設現場は、今回の受賞で弾みがついたように間もなく終了する。（原田）